

## 持続可能な社会を目指したリサイクル技術・分解手法

情報 URL <https://www.jspp.or.jp>

プラスチック製品は、大量生産が可能で安価であることから、食品の包装材に活用され、消費期限を延ばし食品の廃棄を回避するために役立っています。しかしながら、その便利さから大量に生産・使用されていることで持続可能な社会に貢献している一方で、プラスチックごみの問題は、便利であるがゆえの社会問題といえます。

そこで本講演会では、一般的に排出されるプラスチックごみにフォーカスし、ごみが散乱される現状からそのリサイクル手法についてご講演いただきます。また、気になる自然界で分解されるプラスチックについてもお話しいただく予定です。持続可能な社会を目指す我々にとって、貴重な情報を得られる講演会になると思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

[企画担当委員：南川慶二（徳島大学）、阪本浩則（大阪ガス）、木村公一（日本製鋼所）、安田健（東京都立産業技術研究センター）]

- 開催日：2024年3月27日(水)
- 場所：きゅりあん 6階大会議室  
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1  
JR 京浜東北線大井町駅前

- 主催：プラスチック成形加工学会
- 協賛（予定）：化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本金型工業会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部
- 定員：40名（先着順、定員に達し次第締切）
- 参加費（税込み）：
 

会員・賛助会員	15,000円
学生会員	1,000円
協賛学協会員	25,000円
非会員	30,000円
学生非会員	3,000円
- 申し込み・お問い合わせ先  
学会ホームページ経由：  
<https://business.form-mailer.jp/fms/24fd0103226634>

### 8. プログラム：

時刻	内容	講師
10:00-10:30	プラスチックリサイクルの現状と課題 キーワード：プラ新法、製品プラ、再商品化手法、品質基準、リチウムイオン電池	(財)日本容器包装リサイクル協会
10:30-10:40	質疑応答・名刺交換	前川 恵士
10:40-12:00	海洋生分解性プラスチックの開発とその背景 キーワード：海洋生分解性プラスチック、時限生分解性	群馬大学
12:00-12:10	質疑応答・名刺交換	粕谷 健一
12:10-13:10	昼休み	
13:10-14:30	再生プラスチックの品質を安定させる取り組み キーワード：プラスチック資源循環、リサイクルプラ、インライン粘度計、粘度均一化制御	三井化学
14:30-14:40	質疑応答・名刺交換	伊崎 健晴
14:40-14:50	休憩	
14:50-15:40	プラスチック工場廃材のリサイクル キーワード：工程廃棄、分別、トレーサビリティ、品質、水平リサイクル	相田商会
15:40-15:50	質疑応答・名刺交換	我妻 智勝
15:50-16:40	容器材のリサイクルの事例 キーワード：容器材、リサイクル、物性向上	東京都立産業技術研究センター
16:40-16:50	質疑応答・名刺交換	安田 健